

## 2 月 27 日：大型株の反発でベトナム株はわずかに上昇

VN 指数は木曜日の午前中に下落したが、後場に入っていくつかの個別大型株が反発したことを受けて上昇して終えた。

VN 指数は 0.28% 上昇し 898.44 ポイントで取引を終えた。

水曜日に同指数は 1.51% 下落していた。

流動性はそこそこで、投資家は世界経済の減速への懸念とコロナウイルスの影響について警戒感を持ったままだった。

出来高は 1 億 6320 万株で売買代金は 3.5 兆ドンほどであった。

ポジティブな兆候として投資家は今週に入ってから下落した銘柄の押し目買いに動き始めたという点がある。

上昇したのは、ビナミルク (VNM) (+2.3%)、ベティンバンク (CTG) (+1.6%)、テクコムバンク (TCB) (+2.2%)、モバイルワールドインベストメント (MWG) (+2.1%)、ホアファットグループ (HPG) (+0.9%)、BIDV 銀行 (BID) (+0.2%)、VP バンク (VPB) (+0.2%)、ノバランド不動産 (NVL) (+0.2%) などであった。

一方、下落した銘柄として、ベトコムバンク (VCB) (-1.2%)、サイゴンビール (SAB) (-2.1%)、ペトロベトナムガス (GAS) (-1.1%)、ビングループ (VIC) (-0.3%)、ベトジェット航空 (VJC) (-1.8%)、ペトロベトナムパワー (POW) (-1%) などが挙げられる。

バオベト証券によると、VN 指数は 891-895 ポイントの間で横ばいが続けると思われる。本日の取引では反発も期待できるとのことだった

来週上昇を続けるためには、指数は 910 ポイントレベルを超える必要がある。しかしながら、出来だとしても 860-870 ポイントの支持線まで中期的に下落するリスクは残るとのことだった。

同社は株への投資比率は 15-25% に留めるべきだと述べた。

投資比率が高い投資家は投資比率を低くするべきだと語る。キャッシュポジションが多い投資家は取引を急がず反発のサインを注視するべきだと語った。

VN30 指数は 0.79% 上昇し 848.34 ポイントで取引を終えた。21 銘柄が上昇し 8 銘柄が下落した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 2.48% 高の 109.26 ポイントで取引を終えた。

同指数は水曜日に 0.05% 下落していた。

出来高は 4200 万株で 4590 億ドンが取り引きされた。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。